

平成28年度 教育センターフォーラム

学び続ける熱意を
～共に学ぼう 共に育もう～

1 日 時 平成29年1月28日（土）
13:00～17:00（開場・受付12:30より）

2 場 所 大阪市教育センター 大阪市港区弁天 1-1-6

地下鉄中央線「弁天町」駅2番出口（2-B）左へ20m
JR「弁天町」駅南口を西へ150m

3 時 程

13:00	13:30	13:40	15:00	15:20	17:00
オープニング	全 体 会		移動	分 科 会	

【12:30より受付開始】

4 内 容

全 体 会	講 堂	13:40～15:00
-------	-----	-------------

挨拶 大阪市教育委員会 教育長 山 本 晋 次

●「カリキュラムをマネジメントする中から生まれた算数学び合い授業の真髄」

宮本 博規 熊本市教育センター所長

《講師プロフィール》

熊本市立田迎西小学校初代校長。

熊本大学教育学部数学科を卒業後、菊池市立重味（しげみ）小学校に赴任。その後、熊本市立小学校教諭、教頭、熊本市教育センター指導主事、所長補佐等を歴任。

現在、全国算数授業研究会全国理事等を務め、熊本県では12年間に渡り熊本県や熊本市の算数教育研究会の事務局長を務める。

熊本市立壺川小時代に、NHK教育番組「わかる算数4年生」「わかる算数5年生」「わくわく授業～わたしの教え方～」等に出演。最近の著書に「算数学び合い授業ステップアップブック」（2016 明治図書）「算数学び合い授業スタートブック」（2015 明治図書）「スペシャリスト直伝！算数科授業成功の極意」（2011 明治図書）「学校を元気にする33の熟議」（2011 東洋館出版社）他多数。

《講演概要》

平成25年4月熊本市に田迎西小学校が開校。15年ぶりの新設校である。私は初代校長として赴任。ある程度の準備はあるものの一からの学校づくりが始まる。5月の開校式に向けて校訓及び学校教育目標の制定。運動会等全てが記念となる第1回目の行事等を全職員一丸となり取り組む。半年が過ぎ学校独自のカリキュラムづくりに着手しようとした際に検討課題が相次ぐ。その課題解決に向け私が取った手段の一つが職員に向けての自らの授業公開。今後カリキュラムをマネジメントしていく上で職員に大事にしてほしいことを算数授業にて伝えようと試みる。本日はその2年間の取組を中心に、そこから生まれた算数学び合い授業についてお話ししたい。

オープニング（13：00～13：30）

●2階 講 堂

「waku×2.comーbee」授業を変えるわくわく！

こどもが変わるわくわく！

先生がわくわく、子どももわくわく…そんな授業をめざす大阪市教員のために、大阪市の教員みんなで作るWEB上の教育データベースです。授業づくりの考え方、指導技術、学びを支える集団作りなど教員から教員に引き継がれてきた知恵が詰まっています。

●2階 玄 関

●6階 フロア

旭陽中学校の生徒がタブレット端末を使って作成した作品を展示します。「海外派遣や大学院などでの学びについて、『外部連携研修』分科会で報告する先生方が作成した掲示資料（パネル）を展示します。」

●7階 研修室4

外部公募校長の学校改善・改革への取組をポスターセッションで紹介します。

分 科 会

各研修室

15：20～17：00

No.	タイトル と 内 容	会場	定員
①	<p>〈学力向上〉</p> <p>児童生徒の学力向上をめざし、特色的・効果的な実践を行っている小学校・中学校の取組事例を報告します。各校の独自性や地域性を生かした取組から、それぞれの学校でどのように実践していくことができるのか参考にしてください。また、保護者の方にもご参加いただける分科会ですので、たくさんのご参加をお待ちしています。</p> <p>〈報告者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加美東小学校 教頭 千原 信一 教諭 山口 哲平 ・市岡中学校 首席教諭 川口 俊治 ・野里小学校 教諭 塩月 直子 佐々木 章子 原田 清臣 ・本庄中学校 校長 小平 泰弘 	2 階 講 堂	540
②	<p>〈インクルーシブ教育〉特別支援教育をすすめるためのヒントを紹介します</p> <p>○インクルーシブ教育推進スタッフがやっている助言等、小・中学校への支援活動を紹介します。</p> <p>○巡回相談での「気づきのポイント」やよくある相談とその助言事例について紹介します。</p> <p>○今年度から開催している「手話講座」から、学校園で使える手話を紹介します。</p> <p>○朝の会の3分でできる視機能を高めるビジョントレーニングをやってみましょう。</p> <p>○インクルーシブ教育推進室の最新のDVDとよく利用されているDVD、書籍の紹介をします。</p> <p>〈報告者〉インクルーシブ教育推進担当 指導主事 小西基裕 小西浩之</p>	4 階 研 1	40
③	<p>〈情報教育〉 「情報モラル教育もアクティブ・ラーニング！」</p> <p>スマホ時代の子ども達。情報モラル教育は、学校だけではなく、家庭との連携が必要です。「子ども」「家庭」「学校」の3者がつながる情報モラル教育を実践してみませんか？</p> <p>小学校の実践では、「ゲーム依存」「SNSトラブル」「課金」をテーマに、子どもが能動的に学び、保護者とつながる授業を紹介します。中学校の実践では、生徒会が主体的に「スマホの危険性や安全な使い方」について保護者や校区の小学生に啓発した取り組みを紹介します。</p> <p>〈報告者〉・本田小学校 教諭 有馬 由紀子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香養小学校 教諭 宇野 朋子 脇田 英明 ・三先小学校 教諭 川瀬 きくの 黒岩 裕英 森 智美 ・菫中学校 教諭 有賀 仁美 	4 階 研 2	40
④	<p>〈道徳教育〉 こうすればできる！「道徳科」の指導</p> <p>「特別の教科 道徳」（道徳科）が小学校では平成30年度に、中学校では平成31年度に完全実施となります。「道徳科」になって「変わること」「変わらないこと」「留意すること」はどんなことでしょうか。研究指定校の実践やパネルディスカッション・質疑応答を通して共に考え、今後スタートする「道徳科」の実践に活かしましょう。</p> <p>〈報告者〉</p> <p>【文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」・大阪市道徳教育推進委員会 研究指定校】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊仁小学校 教諭 藤岡 三奈子 ・夕陽丘中学校 教諭 村井 隆史 <p>〈パネラー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教育研究会道徳部長 豊仁小学校 校長 服部 敬一 ・中学校教育研究会道徳部長 東陽中学校 校長 田中 紹亮 <p>〈指導助言〉 ・大阪市教育センター 芝田 育朗 教育指導員</p>	5 階 講 義 室	50

⑤	<p>⑤ 〈外部連携研修報告〉新たな視点から教育を考えよう！</p> <p>海外派遣や大学院等の外部連携研修で学んだ先生方が、「実践的指導力と確かな授業力」「アクティブ・ラーニングの推進」「PISA 型学力の育成」「生徒指導の充実」など、教育現場が抱える重要な教育課題について、ポスターセッション形式で報告します。</p> <p>外部連携研修での学びには、授業づくり、子ども理解などについて、新たな視点から考えるためのヒントが豊富に盛りこまれています。海外派遣や大学院等で学びを深められた先生方と一緒に、今後の教育実践について考えていきましょう。</p> <p>〈報告者〉・東小橋小学校 教諭 安村 晃子 ・北巽小学校 教諭 澁谷 美紗子 ・堀江小学校 教諭 森 慎弥 ・大道南小学校 教諭 別宮 由希子 ・南中学校 教諭 老田 望 ・市立高等学校 教諭 伴田 実</p>	6階 図書室など	50
⑥	<p>⑥ 〈ICT活用の実践〉 ICTを活用した授業づくりを進めるにあたって！</p> <p>全校にタブレット端末が整備されました。学校にタブレット端末が入って、「先生が授業でどう活用すればいいんだろう？」「子どもがどのように活用すれば効果的なんだろう？」と悩まれています。ICT教育を推進していくための秘訣を、小学校・中学校のモデル校とICTフロンティアが、それぞれの立場で報告します。各校の次のステップに活かしてください。</p> <p>〈報告〉【モデル校】 ・西淡路小学校 教諭 川島 愛 ・菟中学校 教諭 前田 拓 【ICTフロンティア】 ・北津守小学校 教諭 山田 真衣 ・野田中学校 教諭 山崎 向太</p>	6階 研3	50
⑦	<p>⑦ 〈協働学習の授業デザイン〉 21 世紀型能力の育成をめざした授業づくり</p> <p>これから求められる 21 世紀型能力の育成をめざした授業づくりについて、小学校算数・理科、中学校理科の具体的な授業実践の報告をします。具体的な実践報告から、今求められている「21 世紀型能力」についての理解を深めます。</p> <p>また、小学校・中学校の実践例を比較することで、「日々の授業をどのような視点で変えていけばよいか」「そのためにはどのような工夫が考えられるか」を、皆さんと一緒に考えたいと思っています。校種・教科に関わらず幅広く参加いただき、有意義な話し合いにしていきたいと思います。</p> <p>〈報告者〉【大阪市教育センター所員】 ・阪南小学校 指導教諭 國光 妙子 ・喜連東小学校 指導教諭 工藤 健司 ・淡路中学校 教諭 米田 典生</p>	7階 理科研	40
⑧	<p>⑧ 〈小学校外国語活動〉 Teaching English in Easy English</p> <p>小学校における英語学習が本格的に始まりつつある中、不安をかかえている先生方もおられるのではないのでしょうか。この講座では、小学校英語学習の進め方について役立つヒントを提案します。さまざまなアクティビティを簡単な英語で効果的に進める指導方法や、絵本の効果的な使い方等を体験的に学習します。</p> <p>〈報告者〉 大阪市教育センター 指導主事 小谷 智範 指導教諭 邊 一 峯</p>	7階 スタジオ	45
⑨	<p>⑨ 〈がんばる先生支援英語科教員海外研修報告〉 English teaching methods</p> <p>英語の授業を英語で教える指導法を実際に体験してみませんか。今年度の大阪市英語科教員海外研修においてオーストラリア・クィーンズ大学で3週間学んだ先生方が、明日からの授業にすぐ使える英語指導法をアクティブに伝達します。英語の授業を英語で教える「授業づくり」に向けて、参考になる内容ばかりです。</p> <p>〈報告者〉新豊崎中学校 教諭 後川 源作 巽中学校 教諭 橋上 恵 新東淀中学校 教諭 三木 康衣 住之江中学校 教諭 木村 悦子 十三中学校 教諭 福谷 利浩 成南中学校 教諭 嘉名 優介 渋谷 理華 東陽中学校 教諭 竹林 潤 難波中学校 教諭 太田 有紀 日本橋中学校 教諭 吾妻 仁美 文の里中学校 教諭 櫻河内 美和 桜宮高等学校 教諭 谷村 仁子 南高等学校 教諭 古宇田 佳子 大阪市立高等学校 教諭 筒井 哲也 大阪ビジネスフロンティア高等学校 教諭 金本 尚美</p>	7階 家庭科研	40

⑩	〈外部公募校長の報告〉 (1)「英語イノベーション ～国際交流を通して～」 (2)『やってみなはれ S p i r i t (精神)』でグローバルになあれ！ (3)「学校・家庭・地域が協働してつくる学びの場」 (4)「選択と集中 ～P T A組織改編を通じた意識改革～」	7階 研4	50
	〈報告者〉 (1)墨江丘中学校 校長 渡邊 雅彦 (2)太子橋小学校 校長 数藤 知子 (3)歌島小学校 校長 阪上 聡樹 (4)桃陽小学校 校長 吉岡 哲郎		
⑪	〈がんばる先生支援 (Supporting Teachers Efforts) 個人・グループ研究発表 A 会場〉 (1)「みんなに伝え隊 ～共に感じて考える自然科学体験の充実～」JAXAとの連携研究です！ (2)「教職員に資質向上を目指した組織的取組および学校活性化に関する研究 ～中堅教員の活用と生徒会の活性化をとおして～」 (3)「心を動かす体験を通して、思いや考えを伝え合う喜びを味わうための指導のあり方を考える。 ～『就学前教育カリキュラム』を基にした教育実践と教育課程の改善を通して～」	8階 研5	80
	〈報告者〉 (1)阿倍野小学校 教諭 吉川 達也 (2)天下茶屋中学校 指導教諭 湯浅 貴弘 (3)立葉幼稚園 園長 小林 静香		
⑫	〈がんばる先生支援 (Supporting Teachers Efforts) 個人・グループ研究発表 B 会場〉 (1)「メンター・メンティの指導関係のあり方に関する一考察 ～学校現場でのメンタリング実践を通して～」 (2)「英語でアクティブ・ラーニング ～海外に日本（大阪）を発信しよう！～」 (3)「自分の思いや考えをすすんで表現する子どもを育てる ～「読む力」を高め、「伝え合う力」を育てる指導を通して～」	8階 音楽研	40
	〈報告者〉 (1)今津中学校 教頭 丹羽 健太郎 (2)南高等学校 教諭 津村 貴昭 教諭 山口 よしみ (3)生野南小学校 首席 佐野 仁志 教諭 小野 太恵子		
⑬	〈がんばる先生支援 (Supporting Teachers Efforts) 大学院キャリアアップ派遣研修報告〉 「児童による毎日の生活目標設定と振り返りの効果」、「21 世紀型能力を育成する指導法の開発」、 「児童の反省的思考と社会参加活動の関連について」、「『書くこと』に関する授業デザイン」、「学級経営における教師の信念に関する質的研究」をテーマとした大学院での研究内容を含め、現在、研究を基に学校現場で取組んでいる実践を報告します。先進的な研究を教育現場でどのように活かしていくか考えていきましょう。	8階 研6	40
	〈報告者〉 長橋小学校 教諭 中山 隆史 今宮中学校 教諭 坂 祐太 東中浜小学校 教諭 藤永 喜美子 中本小学校 教諭 佐川 てるは 五条小学校 教諭 弘海 修司		

◆申し込み 問い合わせ先

全体会・各分科会の申し込みは、【online】でお願いします。

☆申し込み開始：1月6日(金) ☆申し込み締め切り：1月20日(金)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

- ・申し込みに関する問い合わせ 専門研修企画グループ (TEL 06-6572-0603)
- ・内容に関する問い合わせ 指導研究グループ (TEL 06-6572-0667)

大阪市教育センター 〒552-0007 大阪市港区弁天 1-1-6 FAX 06-6571-7924